

アニマルセラピー
デイケア バザー & Cafe

進路

江戸川病院院長 新村ヨシオ



院庭の紫陽花 (関看護部長撮影)

進路は、これから進んで行く道のことである。進路は家庭の事情によっても左右される。自由な家風のお宅では子供の意志を尊重するところがあれば、企業家や家柄を重んじる家ではかなりの制約を受けることになる。最近では少子化ということもあり、ひとりの子どもに幼児教育を徹底させて、能力を早期に引き出し、才能を早く開花させようとする風潮がある。幼児期から英才教育を受けさせて、まずそれぞれの年代の頂点を目指させている。素質のある子は身体能力や知的能力そして芸術的能力が人並み以上に

発達するために、親や本人も期待が高まり、夢に向かって精進するようになる。選抜し競わせて更に能力を高めるため、運動であれば優秀な指導者をつけるし、学問であれば厳選された進学塾に入れ、芸術にしてもそれぞれの道の専門家から教授を受けることになる。幼児期から目的が明確な子どもはいないはずで、殆どは親の洗脳と考えられ、自分の意思は後付けになっていると思われる。それでも頑張れる子どもが栄冠を勝ち取るのであるが、一握りの人達である。

進路を決めるに当たっては、昭和の時代のバブル経済期あたりから変わってきたようだ。幼児教育が盛んになり、子どものお稽古事にはじまり、進学塾の

隆盛がありこぞって難関校への進学率を競っていた。運動も学校の部活動では成果がはっきりしないためか、民間の体育施設が台頭してきた。高校になると部活動も専門家を雇って水準をあげてきたが、運動によっては個人的な訓練を受けて、ナショナルチームに招かれるようになる。プロ化してない殆どのスポーツは、ナショナルチームが選手育成しており世界に目を向けていく。学問の世界でも芸術でも登竜門をくぐって成果を出すことで報道され、世間に認められていく。地域から全国、そして世界へと並々ならぬ難関を乗り越え、存在を知らしめることである。成績を積み上げることが自己を実証することになり、人の目に留まるようになる。野球に才能を持ったとすれば、通算で何回の甲子園出場、何本のホームラン、何勝あげた投手と賞讃され、いずれはプロ野球、そしてアメリカのメジャーリーグへと駆け上がっていく。

進路で考えさせられるのは、本当に親が子どもの進路を決めて良いものかである。長い人生なのに子どもの幸せを願ってのこととはいえ、親が主導的に仕向けて良いのだろうか。自身の意志を確認できるのは早くて小学校高学年であろうし、大方は高校生から大学生と思われる。しかし、それでは遅いと言わんばかりに幼児教育は過熱している。確かに日本に於いても運動や勉強そして芸術にしても中学生や高校生が台頭し、成人を脅かしている。日本中にブームを起こすほど活躍する子どももいる。日本といっても一位を維持するのは困難であり、目的を達成した後の自己研鑽に駆り立てることも至難の業である。いくら英才教育を受け、強い精神力を養って実績を積んでも、目標を成就した後のことや故障やスランプで落ち込んだ時の対応も考えなくてはいけない。人は輝き続けることは難しく、いつかは引退を迫られ、目標を失う試練に向き合わされる。その落差と葛藤し、社会に適応しなくてはならない。

進路の指導は、一般的には中学や高校で実施される。父兄も含めて学校で実施される。それは本人と親の意思確認でもあるし、適性も含めた統合的な懇談形式で行われる。しかし、その道のエリート達は自他ともに日本の宝になってしまうので、平均的な指導では本人の足を引っばるだけになるので、担任も応援するしかない。それにしても頂点に立つことは大変なことである。退路を断って、それ一本で生きていく怖さも抱いているだろうし、不安を蓋して前進するしかないからである。それも厳しい鍛練と忍耐を続ける強い意志を持ち、負ける恐怖心と闘いながら精進している。ただ、その一握りの人になれなかった者の進路については明白ではないが、挫折感や後悔が尾を引き、人生の立て直しに苦労しているのではないか。結果は出なくても努力した経験は貴重であり、活用している人の方も多い。一般人は才能がない分、趣味として運動や芸術を楽しめば良いので、細く長く人生を送れるのかもしれない。凡人のひがみかもしれないが、エリートは気の毒にも思える。



アニマルセラピー



当院ではじめてアニマルセラピーを行いました！！アニマルセラピーとは、動物とのふれあいで人々の心を癒すものです。当日は日本アニマルセラピー協会からセラピードッグが4頭来てくれました。パピヨン、エアデールテリア、ボルゾイという犬種で、小型犬から大型犬までそろいました。みな大人しく人懐っこいので患者様の表情は緩みっぱなしでした。ぎゅっと抱きしめたり、優しく頭をなでたり、ぺろぺろと顔をなめられたりと楽しそうに過ごされる患者様の姿を見て、まさしく癒しを与えてもらったと感じました。「かわかった、触れ合えて楽しかった。」「少し怖かったけど、見ていても癒しになった。」「昔飼っていた犬を思い出した。また来てほしい。」といった感想があり、早くも2回目のセラピーを待ちわびる声が多数聞こえてきました。



デイケアつぼみ

たくさんのご協力・ご来場ありがとうございました。次回のバザー&Cafeは秋頃を予定していますので、よろしくお願いたします。



バザー&Cafe